

重点産業ポートフォリオ構築等調査検討業務 受託候補者募集要領

令和7年2月
仙台市経済局産業政策部
経済企画課

重点産業ポートフォリオ構築等調査検討業務受託候補者募集要領

1 本書の目的

重点産業ポートフォリオ構築等調査検討業務の受託候補者の募集に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

2 業務内容

別紙「重点産業ポートフォリオ構築等調査検討業務委託仕様書」のとおり。

なお、仕様書の内容は現時点での予定であり、受託候補者との協議の中で変更する場合がある。

3 委託上限額（予算規模）

上限 21,136,000 円（一般管理費、消費税及び地方消費税を含む）

※委託費は、提案事業の遂行に必要な経費とし、委託内容からその妥当性が認められる範囲とする。

4 応募資格

本業務に応募することができる者は、次に掲げる要件を全て満たす法人又は法人を核にした複数の者による共同企業体とする。

- (1) 委託業務の内容を的確に遂行するに足る能力を有する者であること
- (2) 仙台市と密接な連携がとれる体制を確保できること
- (3) 本業務に関する委託契約を仙台市との間で直接締結できる者であること
- (4) 仙台市の指示に速やかに従うことができること
- (5) 本業務に関連する業務について実績を有すること
- (6) 仙台市に設置される審査委員会でのプレゼンテーション審査に参加することが可能であること
- (7) 地方自治法施行令第 167 条の 4 の規定に該当する者でないこと
- (8) 宗教活動や政治活動を主たる目的とする団体及び「仙台市入札契約暴力団等排除要綱」別表に該当する者でないこと
- (9) 仙台市税（または、現在の主たる事業所所在市町村の市町村税）、法人税、消費税及び地方消費税を滞納していないこと
- (10) 受付期限内に、仙台市の「有資格業者に対する指名停止に関する要綱」第 2 条第 1 項の規定による指名停止を受けていないこと
- (11) 会社更生法に基づく更生手続き開始の申立て中または更生手続き中、または、民事再生法に基づく再生手続き開始の申立て中または再生手続き中でないこと
- (12) 現金出納簿等の会計関係書類及び貸金台帳等の労働関係書類を整備していること
- (13) 公序良俗に反する活動を行う等、委託先として不適切な者でないこと
- (14) 提出された書類等は、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」（平成 11 年 5 月 14 日法律第 42 号）に基づき、不開示情報（個人情報、法人の正当な利益を害する情報等）を除いて、情報開示の対象となることに同意すること

5 契約条件

(1) 契約形態

公募型の提案審査随意契約（プロポーザル方式）

(2) 契約期間

契約締結日から令和8年3月31日まで

(3) 委託費の支払条件

完了払い

※業務完了後、仙台市の検査を経て、受託者の請求に基づき支払いを行う。

(4) その他

- ・ 本業務は令和7年度予算に係る業務であることから、成立した予算の内容に応じて、業務内容等の変更や予算額の減額の可能性がある。
- ・ 契約については、事前に委託内容、委託料について協議のうえ、随意契約を締結する。
- ・ 契約の締結にあたっては、選定された企画提案の内容をそのまま実施することをあらかじめ約束するものではなく、業務委託の内容の詳細について別途協議のうえ、企画提案の内容を一部変更して契約することがある。
- ・ 協議が整った後に、受託候補者はあらためて詳細な経費を積算した見積書を提出するものとする。
- ・ 申請内容に虚偽記載等の不正が明らかになった場合は、採択の取り消し、又は契約解除等を行う場合がある。
- ・ 本委託業務の一部を第三者に再委託する場合は、仙台市の承認を必要とし、本委託業務の全部を第三者に再委託することは認めない。
- ・ 特別な理由により受託候補者と契約できない場合は、他の提案者のうち順位が上位の者から順に契約交渉を行うものとし、最終的に交渉が成立した提案者を受託者とする。
- ・ 本業務の関係書類や会計帳簿等は、業務実施終了後5年間は保存することとし、業務完了後に委託者の閲覧が必要になった場合は協力すること。
- ・ 契約条件が合致しない場合には、委託契約の締結ができないことがある。

6 公募期間等のスケジュール

- | | |
|--------------------|-----------------|
| (1) 公募開始 | 令和7年2月7日（金） |
| (2) 質問票の受付期限 | 令和7年2月14日（金）17時 |
| (3) 参加表明書兼誓約書の受付期限 | 令和7年2月21日（金）17時 |
| (4) 応募書類の受付期限 | 令和7年3月4日（火）17時 |
| (5) プレゼンテーション審査会 | 令和7年3月18日（火）予定 |
| (6) 審査結果通知 | 令和7年3月21日（金）予定 |
| (7) 委託契約の締結、業務開始 | 令和7年4月1日（火）予定 |

7 質問の受付及び回答

本業務等について質問がある場合は、下記により質問票を提出すること。

(1) 受付期限

令和7年2月14日（金）17時必着

(2) 受付方法

仙台市ホームページより「質問票（別紙1）」をダウンロードし、質問事項を記入の上、本要領12に記載の担当課あて電子メールで提出する。なお、電子メールのタイトルには「重点産業ポートフォリオ構築等調査検討業務に関する質問」と記載すること。受付期限内であれば質問回数に上限は設けない。

(3) 回答

随時質問者に個別に回答するほか、全質問とその回答を仙台市ホームページに掲載する。

8 参加表明書兼誓約書の提出

本業務の企画提案応募を希望する場合は、下記により参加表明書兼誓約書を提出すること。

(1) 提出期限

令和7年2月21日（金）17時必着

(2) 提出先

本要領12に記載の担当課

(3) 提出方法

仙台市ホームページより「重点産業ポートフォリオ構築等調査検討業務企画提案参加表明書兼誓約書（様式第1号）」をダウンロードし、必要事項を記入の上、本要領12に記載の担当課あて電子メールで提出すること。なお、電子メールのタイトルには「重点産業ポートフォリオ構築等調査検討業務企画提案参加表明書兼誓約書」と記載すること。

9 企画提案書の提出

本業務の受託を希望する者は、下記により応募申込書等を提出すること。

(1) 提出期限

令和7年3月4日（火）17時必着

(2) 提出先

本要領12に記載の担当課

(3) 提出方法

電子メールにて提出すること。

(4) 提出書類

以下のとおり

- ① 応募申込書（様式第2号）
- ② 企画提案書（A4版横の任意様式、下記留意点参照）
- ③ 経費見積書（任意様式、積算内訳を添付）
- ④ 企画提案者の概要が分かる資料（会社案内等）

- ⑤ 定款または寄付行為（法人格を有しない場合は運営規約等）の写し
- ⑥ 履歴事項全部証明書（商業・法人登記簿謄本）の写し等
- ⑦ 直近の決算書またはこれに類する書類
- ⑧ 仙台市税の滞納がないことの証明書（または、現在の主たる事業所所在市町村の市町村税の納税証明書）
- ⑨ 納税証明書（法人税及び消費税・地方消費税について未納税額のないことの証明書）
- ⑩ （共同企業体の場合）企業連合協定書（様式第3号）

(5) 留意点

- ① 企画提案書は別紙仕様書を熟読の上、A4版横に横書き、20分程度で説明できる量とし、ページ番号を付すること。必要に応じて絵・図・フロー図などを用いて分かりやすく記載すること。Word形式、PowerPoint形式、PDF形式のいずれかで提出すること。図表等の記載のため必要な場合のみ、A3版で作成しても差し支えない。

- ② 企画提案書には下記事項を必ず記載すること。

(ア) 業務全体のスケジュール

(イ) 本業務に関する具体的な提案

- ・ 現状の本市の産業構造における特性や産業競争力を定義する際の考え方について示すとともに、2040年までの本市のマクロ環境を推計する手法について具体的に示すこと。
- ・ 重点産業ポートフォリオ構築にあたっての考え方のほか、特に有望とされる重点産業を根拠を含め1つ挙げ、当該産業を振興することによる影響（市内総生産及び市民の暮らしの豊かさの向上）を示すこと。
- ・ 上記で挙げた特に有望とされる重点産業の課題やボトルネックのほか、市内総生産を増大させるために有効な本市の政策を最大3つまで示すこと。また、政策の有効性を2040年まで継続的に検証するための進捗管理指標の考え方について具体的に示すこと。

(ウ) 実施体制（組織図の添付など、本委託業務に携わる職員等の役割分担表を作成し固有名詞も含め具体的に記載）

(エ) 本業務に類似・関連する業務に係る過去の実績

(オ) その他業務の実施に関して必要な事項

(6) その他

- ① 企画提案に係る費用は、提案者の負担とする。
- ② 提出書類等は返却しないこととする。
- ③ 提出期限後の提案書の提出、期限後の提案書の差し替え・再提出は認めないこととする。

10 受託候補者の選定等

以下により、受託候補者を選定する。

(1) 選定方法

審査は「重点産業ポートフォリオ構築等調査検討業務受託候補者選定に係る審査委員会」において企画提案書等に基づく応募者からのプレゼンテーションを踏まえて行う。

- ① プレゼンテーション

開催日時：令和7年3月18日（火）予定 ※詳細は応募申込書の提出者に後日連絡する。

場 所：仙台市役所経済局第一会議室（仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル9階）

② 内容・方法

応募者より企画提案内容の説明を受け、その後審査委員との質疑応答を行う。内容説明の時間は20分以内、質疑応答時間は10分以内とし、企画提案書の内容に基づく説明を行うこと。

※出席者は、1者あたり2名までとする。

※審査委員は、下記の（2）審査基準に沿って企画提案内容の評価を行い採点する。各委員の採点に基づく合計点を合算した総合点数が最も高い応募者を受託候補者として特定する。

③ 審査内容

総合点数が同じ事業者が複数いる場合には、各委員の採点において評価票の「評価項目」の以下の項目の合計点が高い事業者を上位とする。

- ・ 第一優先項目 「提案内容」
- ・ 第二優先項目 「実現性」

(2) 審査基準

審査項目	審査の視点	配点
1. 提案内容		70
事業目的の理解	業務の目的を十分に理解した提案になっているか。	15
本市の特性・産業競争力の分析及び将来推計	産業構造の特性等の分析手法は、独自のノウハウや知見を活かした具体的な内容になっているか。	15
重点産業ポートフォリオの構築	重点産業ポートフォリオ構築の考え方は、独自のノウハウや知見を活かした具体的な内容になっているか。	20
成長シナリオの策定	・政策及び進捗管理指標は有効性と実効性が高く、具体的な内容になっているか。 ・政策効果の論拠は明確か。	20
2. 実現性		30
業務全体のスケジュール	本業務が適切かつ円滑に実施できるスケジュールであるか。	5
費用の妥当性	必要経費の積算根拠（単価・数量・内容）が示されており、妥当性があるか。	5
業務の実施体制	業務の効果的な実施に必要な人材と十分な人員配置が予定されているか。	10
本業務に類似・関連する業務に係る過去の実績	本業務の実行力を示す実績及びノウハウを有しているか。	10

(3) 審査結果

採択・不採択の結果については、メール等で通知し、問い合わせには対応しない。

(4) 採択者数

1 者

11 提案が無効となる場合

次のいずれかに該当する提案は、無効とする。

- ・ 応募資格要件を満たさない場合または委託契約締結までの間に応募資格要件を満たさなくなった場合
- ・ 提出書類に虚偽または不正な記載があった場合
- ・ 選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行った場合
- ・ 上記3に示す予算規模上限額を超える提案を行った場合
- ・ その他、募集要領に定める条件に違反した場合

12 担当課

仙台市経済局産業政策部経済企画課企画調整係

住所：〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル9階

電子メール：kei008010@city.sendai.jp

電話：022-214-8275 FAX：022-267-6292